

2026年5月14日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
代表者名 代表執行役社長 CEO 明間 純
(コード番号 6740 東証プライム)
問合せ先 執行役員 CFO 平林 健
(TEL. 03-6732-8100)

営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失の計上のお知らせ

2026年3月期第4四半期会計期間（以下「当第4四半期」といいます。）において、営業外収益（原材料売却益）、営業外費用（支払利息、投資有価証券評価損及び貸倒引当金繰入額）、特別利益（その他特別利益）並びに特別損失（減損損失、事業構造改善費用及びその他特別損失）を計上いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 営業外収益の計上

当社茂原工場の生産終了により不要となった原材料を処分したことに伴い、当第4四半期の連結決算及び個別決算において原材料売却益 62 百万円を計上いたしました。これにより、2026年3月期の連結決算及び個別決算における原材料売却益は 432 百万円となりました。

2. 営業外費用の計上

短期借入金等の利息として、当第4四半期の連結決算において、2,410 百万円の支払利息を計上いたしました。これにより、2026年3月期の連結決算における支払利息は 8,733 百万円となりました。

また、当社グループが保有する投資有価証券について、投資先の財務状況を踏まえ、持分に応じた損失の計上等を反映した結果、当第4四半期の連結決算において 3,212 百万円を投資有価証券評価損として計上いたしました。これにより、2026年3月期の連結決算における投資有価証券評価損は 3,284 百万円となりました。

さらに、当社の連結子会社である JDI Design and Development 合同会社に対する債権について、同社財務状況の悪化に伴い回収可能性が低下したことから、当第4四半期の個別決算において 1,600 百万円を貸倒引当金繰入額として計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 特別利益の計上

主に旧東浦工場の生産終了に伴う見込費用について、精算完了により引当金を取り崩したこと等により、当第4四半期の連結決算及び個別決算において 61 百万円をその他特別利益として計上いたしました。

4. 特別損失の計上

ディスプレイ事業の資産の一部について、当面の収益性を評価した結果、当第4四半期の連結決算において 1,228 百万円、個別決算において 1,006 百万円を減損損失に計上いたしました。これにより、

2026年3月期の減損損失は、連結決算において1,972百万円、個別決算において1,649百万円となりました。

また、当社茂原工場の生産終了に伴う費用等について、見積を精緻化したところ、当初水準から減額を見込んだことにより、当第4四半期の連結決算において1,851百万円、個別決算において1,810百万円を事業構造改善費用における戻入として、特別損失を減算し計上いたしました。これにより、2026年3月期の事業構造改善費用は、連結決算において9,423百万円、個別決算において9,207百万円となりました。

さらに、当社グループが保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落した株式について減損処理を実施したことにより、当第4四半期の連結決算及び個別決算において39百万円をその他特別損失として計上いたしました。

5. 業績に与える影響

上記の内容につきましては、本日公表の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上